

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

6月28日  
第4聖日  
第3410号

「世々隠された奥義」

聖  
言

また、万物を創造された神の中に世々隠されていた奥義を実行に移す務めが何であるかを明らかにするためにほかありません。エペソ3:9

礼拝の恵み 第二一章  
第八部 礼拝の障害(つづき)  
第五節 あせり

イスラエルの王サウルの悲しむべき例は、あせりがどのようにして礼拝の障害たり得るかを、よく示している。予言者サムエルはイスラエルの王たるサウルに油をそそぎ、主の御霊がかれにくだること、かれが予言するであろうこと、そして神がかれを別人に一変されるであろうことを、かれに予言した(サムエル前一〇ノ一〜一三)。それからサムエルはサウルに今後の行動に関して指示を与えて言った。「あなたはわたしに先立ってギルガルに下らなければならぬ。わたしはあなたのもとに下って行って、燔祭を供え、酬恩祭をささげるでしょう。わたしがあなたのもとに行つて、あなたのしななければならない事をあなたに示すまで、七日のあいだ待たなければならない」(八節)。こう指令を受けたサウルは、自分の家に帰り、そしてサムエムが予言しておいた事はそのとおり起こった。第一三章には、ペリシテ人がイスラエル人を攻めるために集結している一方、サウルがギリガルでサムエルの現れるのを心待ちに待っていることが、記されている。サムエルが現れて、神の祭司として、かれしか行うことができないことを行うのを、待ち切れず、サウルは自分の僕に燔祭と酬恩祭を持って来させ、それを自分で神にささげた。

(「礼拝」ギブス)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年六月二一日午前一〇時 礼拝 山本牧師

〔聖徒の内一番小さい者〕

「すべての聖徒のうちで一番小さな私に、この恵みがあたえられたのは、私がキリストの測りがたい富を異邦人に宣べ伝え、」

(エペソ三ノ八)

パウロはクリスチャンを迫害した人間にです。それでパウロは自分を聖徒の内一番小さいと表しています。八億円の宝くじを当たった以上の富が与えられるのです。これは価値観が変えられるのです。今まで、大事であると思っていたものが、塵芥のようになるのです。今もついているものがそれだけすばらしいからです。冷静に考えて、土地、名誉、富、健康に代わるものはあるでしょうか。昨日も感情をもつロボットを発売すると一分で完売しました。悩みを聞いてくれるロボットです。それだからといっていつも寄り添ってくれるわけではありません。イエスは**心**時間対応のお方です。いつも寄り添ってください。現代人は何かしていないと、不安である。高齢者は寂しい。だれも一人で開けられない。いと小さき者、使徒の中で一番小さい者、目に見えないぐらい小さい者、顕微鏡で見ても見えないほど存在価値のない者。この世の偉大から見ると、存在すら疑われるほど小さい。小保方さんが発見した万能細胞はあるかないか疑われた。それとは違うけど、本当に小さな小さな者である。この小ささはどこから来たかという、パウロの偉大からきたのではなく、キリストの愛の偉大から来たのである。踏み潰されるべき者を生かしてください。彼の憐れみ、パウロの罪を自己の罪として死んでくださった彼の愛、償いきれない罪の負債を免除してくださった犠牲を知った。世の中はちいさいものに見向きもしない。いや邪魔なもの扱。神のようだと崇められたヘロデは虫にかまれて死んだ。傲慢とは自分を大

きいと考える。見えないものを頼りなく無価値と考える。

Kという信者の御長男がおられました。かれは知的障害でした。病床で顔面血だらけになっていましたが、見舞いにきた私を気遣い微笑んでくださったことを今も忘れません。四国のT兄弟も賛美集会の映像係してくれました。なかなか映像が映りません。それは彼がわるいのではなく、わたしたちのミスを気づかせてくださったのです。どれだけ存在価値のないと思われるものによつて助けられているでしょう存在価値のないと馬鹿にするのは愚か者です。すぐに木を切り倒し、山を崩し、自然を破壊するとしつpegがえしがくるのと同じです。

二〇一五年六月二四日午後七時 祈禱会 山本牧師

「ゴグとマゴグ」

「人の子よ。メシエクとトバルの大首長であるマゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言して、言え。神である主はこう仰せられる。メシエクとトバルの大首長であるゴグよ。わたしはあなたに立ち向かう。」(エゼキエル三八ノ二、三)

「ゴグの地」という意味である「マゴグ」は、創世記にはヤペテの子孫として言及されている(一〇ノ二)。またアマルナ文書には「ゴグ」と発音の似通った「ガガイヤ」が未開人の故郷として言及されている。おそらく伝説的な民ゴグは古代においてかなり広く知れ渡っていたと考えられるが、エゼキエルはそれを神の民に反抗する諸国の民の型として用いたのいであろう。

それではゴグの地はどこであろうか。「大首長」(ヘブル語ネシ・ローシユ)を「ローシユの君」と訳し、「ローシユ」を地名ととっている翻訳もある。「メシエク」「トバル」は共に、ヤペテの子孫として創世記に出て来る古い名前であるが(一〇ノ二)、小アジアの東部からコーカサス地方にかけて住んでいた民族だと考えられる。「トバル」はコーカサス地方の町トビリシのその

名をとどめている。「メシエク」をモスクワだとし、「ローシユ」をロシアだとするのは、先入観により生き過ぎであるが、その地をコーカサス地方の付近と見なすことはできるだろう。そこはイスラエルのはるか北方になるので、「北の果てのあなたの国」(一五)と言われていることにも調和する。なにはともあれ、ゴグ、マゴグは黙示録二十書で神の民に挑む諸国民のリーダーとして現れる。クリスチャンは平和を願うが、人間の力によっては世界を治めることは出来ず、悪の勢力ゴグとマゴグが支配するようになる。そこで必要なのは、クリスチャンが聖霊のバプテスマを体験して、教会に起きたリバイバルに驚き、周囲の人々が教会を覗き込んでくるような聖霊に満たされた教会をめざしたいものである(鷹取著エゼキエル」参考)

七月行事計画

二日(木) 納骨堂掃除 午前九時

三日(金) 月に一度の楽しい祈祷会 午後一時

五日(日) 役員会 礼拝後

一三日(月) 説教塾 神港教会 午前二時

神戸宣教協力祈祷会

二〇日(月) 教団牧師会 午前一〇時

二五日(土) 大日丘集会 午後五時

二八日(火) 教会リバイバル祈祷会 東部教会 午後一時

七月会計役員 尾瀬姉 小段姉 大内姉

七月召天会員

五日 白数大二郎兄 五二周年

十二日 北出昭夫兄 一九周年

十八日 李在恒兄 六三周年

早瀬恵子姉 一四周年

二〇日 松田勇助兄 七〇周年

二二日 北田トヨコ姉 一二〇周年

毛利慰真子姉 五一周年

二三日 野木千代吉兄 三五周年

尾瀬隆雄兄 一〇周年

二四日 梶原信成兄 六〇周年

山村道子姉 五八周年

高橋哲二兄 二八周年

二五日 木村正江姉 三五周年

二七日 松田昭子姉 二五周年

津田 勇兄 一九周年

二八日 富山定雄兄 三六周年

三一日 三永雄章兄 七二周年

※召天会員の御遺族は納骨堂周辺の掃除をお願いします。

仮庵聖会

「再臨と聖潔」(「テサロニケ」)

日時 八月一四日(金) 午前・午後・夕

場所 本部教会

講師 聖会委員